

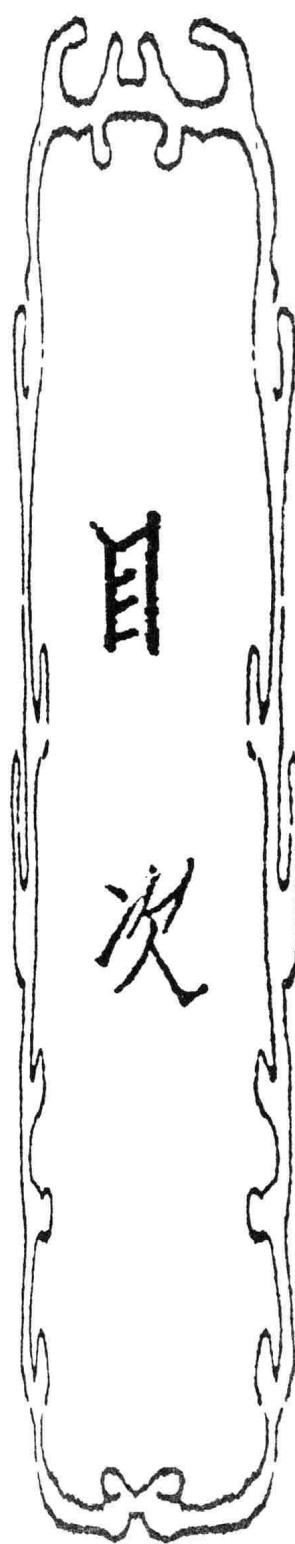
偽滿洲國統計資料匯編

綫裝書局

第二十九冊

綫裝書局

偽滿洲國統計資料匯編



满洲兴业银行周报

长春 第三册

满洲兴业银行周报	一九四〇年	第一百八十三号	九〇三
满洲兴业银行周报	一九四〇年	第一百八十四号	九三七
满洲兴业银行周报	一九四〇年	第一百八十五号	九八一
满洲兴业银行周报	一九四〇年	第一百八十六号	一〇一九
满洲兴业银行周报	一九四〇年	第一百八十七号	一〇五九
满洲兴业银行周报	一九四〇年	第一百八十八号	一〇九九
满洲兴业银行周报	一九四〇年	第一百八十九号	一一四一

行外配付第七九號

行外秘

週報

第一八三號

(自康德七年七月二十一日
至同 同 二十七日)

滿洲興業銀行調查課

週報 一 第一八三號 目次

△週間滿洲重要日誌

一頁

△週間國外重要日誌

一

△滿洲財界事情

滿洲貿易調整協定調印

四

日滿農政研究會第二回總會

七

全滿金融機關預金貸出高（四月末）

一

週間發表經濟統計

三

△日本財界事情

近衛內閣成立

四

株式市況

五

金融事情

七

△支那財界事情

濠洲ニ於ケル對支貨物輸入並ニ爲替統制ニ關シ濠支間協定成立 一九

△諸

表

上海海關金單位變更	一一〇
上海綿業取引所開所	一一〇
當行週末主要勘定殘高	一一二
滿洲中央銀行券、日本銀行券、朝鮮銀行券發行高	一一三
海外爲替相場、海外金銀塊相場	一一四
株式相場	一一五
株式相場	一一五
東京短期	一一五
奉天、大連短期	一一六
商品相場	一一七
大阪綿布、棉花、神戶豆粕	一一七
重要商品公定價格	一一八
大豆、豆粕及主要糧穀	一一八
同	一一九
米穀、綿糸布	一一九
同	一二〇
砂糖	一二〇

◎週間滿洲重要日誌

七月二十一日

△總務長官星野直樹氏辭官發令。

二十三日

△國務院會議ニ於テ有價證券業取締法ヲ可決。

二十四日

△武部六藏氏總務長官暫任。

二十五日

△協和會創立八周年記念式典ヲ舉行。

△蘇聯邦チタ市ニ於テ滿蒙現地國境確定委員會開催ニ關シ外務當局談發表。

△滿關貿易調整協定成立ニ關シ經濟部及關東局南當局談發表。

◎週間國外重要日誌

七月二十一日

△リトアニア、ラトヴィア、エストニア三國各議會ソ聯邦加入案ヲ採擇。

二十二日

△日本、近衛內閣成立、首相兼農相近衛文麿、外相兼拓相松岡洋右、內相兼厚相安井英

二、藏相河田烈、陸相東條英機、海相（留任）吉田善吾、法相風見章、文相橋田邦彦、商相小林一三、逓相兼鐵相村田省藏、無任所相兼企畫院總裁星野直樹、書記官長富田健治、法制局長官村賴直發。

△英國、ハリファツクス外相放送演説ニ於テ過般ノ獨ヒツトラ―總統ノ和平演説ヲ駁シ英國ハ飽迄對獨抗戰ヲ繼續スル旨ヲ言明ス。

二十四日

△日本、農林大臣石黒忠篤氏親任。

樞密顧問官松浦鎮次郎、三土忠造兩氏親任。

△ルーマニア、英國系石油會社アストラ・ロムーンノ全財産沒收ヲ聲明。

二十五日

△米國、大統領令ヲ以テ石油其ノ他油類、屑鐵其ノ他屑金屬ヲ禁輸出品日ニ追加指定。

△獨逸、フンク經濟相、歐洲ノ經濟新秩序ノ根本方針ヲ發表。

△、フランス占領地域ブルタ―ニユ地方ノ獨立ヲ聲明。

二十六日

△日佛天津治安細目協定成立。

二十七日

△日本、近衛內閣最初ノ大本營、政府連絡會議開催。

△伊太利、ムツソリーニ首相、ルーマニア　ギグルト、マノイレスコ首、外相ヴエネチ
アニ於テ會議。

二十八日

△獨逸、リツペントロツプ外相、スロヴァキア。チソー大統領、ワカ首相、サノマツク
外相。ザルツブルグニ於テ會談。

◎滿洲財界事情

滿洲貿易調整協定調印

滿洲國竝ニ關東州兩當局ニ於テハ滿洲兩者ノ貿易機構ノ一體的運用ヲ中心トスル貿易統制ノ一元化ヲ圖ルベク、總設來所衝ヲ重ネテ居タガ此ノ趣兩當局ノ間ニ滿洲貿易調整協定ガ成立。正式調印ヲ了シタノデ。七月二十五日經濟部ヨリ左ノ如キ當局談ヲ發表。右協定ノ主旨ヲ闡明シタ

協定ノ内容ハ當局談中ニ示サレタル各項目ニ依リ明カデアアルカテ茲ニ記述ヲ省略スルガ、要スルニ本協定ハ從來勸モスレバ兩者ノ協調ニ圖滿ヲ缺ク憾ミノアツタ滿洲兩者ノ貿易機構ノ運用ヲ調整一體化スルコトヲ主張トシタモノデアツテ、今後ノ對日其ノ他物資ノ輸入統制、兩者間ノ配分等ニ付妥當且ツ圓滑ナル方途ガ設ケラル、モノト期待サレテ居ル。

而シテ本協定成立ニ關スル當局談中「關東州ハ從來ノ自由主義的色彩ヲ拂拭シテ……」トアルハ極メテ注目スベキデ、内外ノ新情勢ニ對處シ、又滿洲國ノ健全ナル發達ニ呼應シ關東州ノ地位ガ、滿洲一體ノ重要性ヲ發揚スル上ニ於テ新發足ヲ要請セラル、ニ至ツタコトヲ示唆スルモノデアアル。

經濟部當局談

滿洲建國前ニ於テハ關東州ハ日本ノ大陸政策遂行上ノ據點デアリ、大連港ハ日本ノ對滿經濟進出ノ樞紐地トシテノ使命ト發展性ヲ有シテ居タモノデ其ノ自由港タル意義モアツタガ

滿洲建國後東亞新秩序建設ノ現段階ニ在ツテハ關東州ハ從來ノ自由主義的色彩ヲ拂拭シテ新情勢ニ對應スベク要求セラレテ居ル。即チ關東州ハ地理的利點ト優秀ナル港灣設備並ニ多年ニ亘ツテ培ヒ來ツタ商權トヲ新情勢ニ即應スル如ク活用シ、舊殼ヲ脱シテ進ンデ日滿經濟ノ統制ニ寄與スル見地ノ下ニ今回消費物資ノ輸入統制ニ關聯シ滿關當局間ニ概略左記ノ如キ協定ヲ見タ次第デアツテ、滿關相互ニ於ケル貿易機構ノ一體的運用ヲ中心トシテ貿易統制ノ一元化ヲ圖ツタ次第デアル。

一、本協定ノ成立ニ依リ物動的消費物資ノ對日要求ニ付テハ滿關ハ共同シテ所要量ヲ策定シ之ヲ日本側ニ要求スルト共ニ滿關同割當ノ決定ヲ見タ場合ハ夫々其ノ配分ヲ協議スルトト、シタ。

二、從來大連港經由デ滿洲國へ供給サレル物資ニ付テハ其ノ相當量ヲ關東州業者ガ取扱ツテ居タガ、兎角大連ノ自由港的立場ヨリ價格及配給對策ニ於テ滿洲國ト步調ヲ一ニ爲シ得ナイ憾ミガアツタノデ、今回關東州業者ヲ通ジテ滿洲國へ輸入スル場合ニ於テモ其ノ價格品質、數量、引渡元及時期等ニ付テ滿洲國ノ意圖ニ合致スル様措置スルコト、ナツタ。三、仍ツテ滿洲側ニ於テモ關東州ノ經濟的施設ノ活用ニ依リ物資ノ圓滑ナル供給ヲ圖ルベク努メテ關東州既存業者ノ伸張實績ハ之ヲ尊重シ業者ノ活用ヲ圖ル方針デアリ、此ノ意味ニ於テ大連ル―トヲ有利トスル滿洲國配分數量中ノ一部ハ關東州輸入機關ヲシテ之ガ輸入ニ當ラシムルコト、ナツタノデアツテ其ノ取扱數量ハ康德六年（昭和十四年）ノ關東

州へノ輸入貨額ヲ基準トシテ定メルコト、シタ。但シ關東州輸入機關ノ活用ハ之ヲ利用シテ輸入スルコトガ滿洲國側統制機關ノ直接輸入ニ比シテ滿洲國側ニ不利ナラザル場合デアツテ、之ガ不利ナル場合ハ關東局ト協議ノ上滿洲國側統制機關ニ於テ之ガ直接輸入ヲ爲スノデアルガ、尙ニ關東州輸入機關ヲ經由シテ輸入スルコトガ滿洲國側ニ有利ナル場合ハ努メテ之ニ依ルコト勿論デアル。滿洲國トシテハ滿洲國側統制機關ト關東州側統制機關ハ之ヲ公平平等ナル立場ニ於テ處理スル方針デアル。

四、以上ハ對日期待物資ニ關スル滿洲國統制機關ノ調整方途デアルガ對日本外地ヨリノ期待物資ニ付テハ之ニ準ジ處置スル積リデアル。

五、滿洲國ノ輸出ニ付テハ統制料ノ徵收ノ如キ相互ニ支障アル事以ハ之ヲ爲サザルコトトシ特ニ徵收ノ要アル場合ハ兩當局ニ於テ協議スルコトトシタ。尙滿洲國統制機關ノ輸入ニ關係アル統制料ニ付テハ輸入價格ニ影響スル關係上其ノ決定變更ニ付テハ緊密ニ連絡協議スルコトトシタ。

六、茲スルニ滿洲國一帯ノ經濟關係ヲ背景トシテ滿洲國ニ於ケル貿易統制ノ一元的實行ヲ圖リ以テ滿洲共同ノ經濟的福利ヲ増進スルコトガ今回ノ協定ノ基調デアツテ、今後共ニ時緊密ナル連絡ヲ保持シ一帯的統制ノ實ヲ舉ゲンコトヲ期スル次第デアル。

同關東州側ニ於テモ同日右同様ノ趣旨ヲ以テ關東州貿易業者ノ協調ヲ要望スル旨ノ當局談ヲ發表シタ。

日滿農政研究會第二回總會

日滿兩國ヲ一體トスル農業政策ノ調整ヲ圖リ特ニ滿洲國ニ於ケル農事諸般ノ綜合的發展ニ資スル目的ノ下ニ昨秋創立ヲ見タ日滿農政研究會ハ八月二十二日ヨリ三日間ニ亘リ新京ニ於テ第二回總會ヲ開催シタ。

先ツ會長ノ挨拶ニ次イデ關東軍參謀長、國務總理大臣、農林大臣、農務部大臣ノ祝辭ガアツテ後議事ニ入り三日間ニ亘リ

一、六年度會務報告

一、日滿農政年次報告

一、日滿ヲ通ズル農林畜水產物ノ生産配給ニ關スル研究報告

一、日本内地人農業人口收容力竝ニ招墾保持ニ關スル研究

一、當面ノ問題ニ關スル要望

一、滿洲開拓竝ニ増產計畫擴張強化ニ關スル要望

一、開拓挺身隊要綱

等ノ報告、要望等アリ。之等議事ニ付眞摯ナル討論ガ行ハレタガ、會務ヲ進メテノ重要課題ハ日滿支ヲ一體トスル食糧飼料ノ自給自足ヲ目標トスル滿洲農產物ノ増產計畫ノ下右目的達成ノ爲ノ勞動力確保竝ニ開拓促進対策ニ重點ヲ集中サレ、滿洲ニ於ケル農業政策ハノ重要点ヲ再確認スルモノトシテ注目スルモノデアツタ。

而シテ本總會ニ於テ議決サレタ重要事項ニ付、其ノ要點ヲ摘記スレバ左ノ通りデアル。

一、農產物増産計畫ヲ中心トスル「營面」問題ニ對スル要望」

一、日滿ニ亘ル農畜産増産ニ關スル件

日滿兩國ハ各其ノ農業体制ノ整備ヲ圖リ、以テ農業生産力ノ擴充ニ邁進スベキハ現下喫緊ノ要務ナルモ特ニ左記事項ニ關シ更ニ一層ノ協力ヲ要望ス

(1) 日滿ニ於ケル米ノ需要ハ逐年増大シツ、アルヲ以テ日滿兩國ハ極力増産計畫實現ニ邁進スルコト。特ニ滿洲ニ於テハ自給計畫ノ速カナル達成ヲ圖ルコト

(2) 滿洲ニ於テハ小麥ハ禾谷自給ノ域ニ達シ居ラザル實狀ニアリ。今後一層之ガ速カナル達成ニ努ムルコト。日本ニ於ケル小麥増産計畫ニ於テハ滿洲所要量ヲ考慮シテ可及的増産ヲ圖ルコト

(3) 滿洲ニ於ケル高粱、玉蜀黍、粟、大豆及大豆粕等ノ増産計畫ニ於テハ日本所要量ヲ考慮シテ積極的増産ヲ圖ルコト

(4) 麻類ノ需要増大ニ鑑ミ日滿兩國ハ緊密ナル聯繫ノ下ニ之ガ積極的増産ヲ圖ルト共ニ配給統制組織ヲ整備スルコト

(5) 日滿ヲ通ズル家畜ノ増産計畫ニ付テハ銳意其ノ遂行ヲ圖ルト共ニ畜類特ニ種畜ノ滿洲向輸出ニ關シテハ一層計畫性ヲ有セシムル爲日滿ヲ通ズル綜合的統制方策ヲ樹立スルコト

右ノ外

一、滿洲產農產物ノ對日供給確保ニ關スル件

一、農業技術指導員訓練養成ニ關スル件

一、農事開拓部門ノ日滿人事交流ニ關スル件

等ガ上議決定セラレタ。

二、滿洲開拓並ニ増産計畫聯繫強化ニ關スル要望

滿洲開拓政策ノ積極的遂行ニ依リ、日本ニ在リテハ農村ノ再編成ヲ行ヒ滿洲ニ在リテハ農業生産機構ノ整備強化ヲ圖リ、以テ滿洲開拓政策ト農業生産計畫トノ聯繫強化ヲ圖ル爲、左記方途ヲ講ズルコトヲ要望ス

日本側ノ方策トシテハ

(イ) 中央關係官廳ハ緊密ナル聯繫ノ下ニ道府縣ヲシテ綜合的送出年次計畫ヲ樹立セシムルト共ニ移住地ノ決定、開拓豫定地ノ調査其ノ他送出計畫等ニ付道府縣ヲシテ積極的ニ參加セシムル方途ヲ講ズルコト

(ロ) 送出ニ關シテハ分村計畫ヲ中心トシテ農村再編成ノ立場ヨリ各種團體協力ノ下ニ土地處理經營形態等ニ付適切ナル方途ヲ講ズルコト、青少年義勇軍ノ送出、並ニ歸還將兵及商工礦業ヨリノ歸村者ヲ開拓民タラシムル方策ニ付特ニ考慮スルコト、母村分村間ノ緊密ナル聯繫ニ依リ物資ノ相互融通ヲ圖リ特ニ分村ニ於ケル農業生産物ノ對母村供

ル